

地域おこし協力隊(景観まちづくり推進員)

はじめまして、10月1日より地域おこし協力隊(景観まちづくり推進員)として活動している『濱崎 順平』と申します。これからよろしくお願いいたします。

◆自己紹介

- 所属:まちづくり新幹線課 景観室 景観係(景観まちづくり推進員)
- 年齢:26歳
- 出身:東京都(その他神奈川・千葉も在住経験あり)
- 趣味:旅行,野球観戦,ドライブ
- 着任の経緯:「羊蹄山」や「ニセコ連峰」をはじめとした自然豊かな倶知安町で、学生時代に専攻していたまちづくりに関わる仕事がしたいと思い、これまで20回近く旅行してきた北海道への移住を決断しました。
- 私のお気に入りの風景:《秀逸な道》八幡ビューポイントパーキング



◆倶知安町内フィールドワークを行って



着任当初は計4日間を使用し、市街地およびニセコひらふ地区を中心に町内全域でフィールドワークを行いました。住民の方々が庭先に花を植えて華やかになっている市街地、コテージやホテルなどインバウンドの拡大を受けて開発が進むリゾート地区、倶知安の原風景ともいえるであろう馬鈴薯をはじめとした田畑が広がる郊外地区、それぞれが倶知安の重要な景観要素であると感じました。そして、その中でも街のシンボルである羊蹄山は倶知安町民共通のアイデンティティになっていると改めて思いました。今後は倶知安町の素晴らしい風景を作り出している地域のコミュニティ活動についてもより理解を深められたらと考えています。

◆今後の活動内容

ニセコひらふ地区の駐車場整備や北海道新幹線開業に伴う駅前通りの整備など、街の景観に関わるハード面での課題は数多く山積しています。他方で羊蹄山やニセコアンヌプリをはじめとする豊かな自然や地域の文化、歴史などもソフト面において街中の景観の重要な要素であると考えています。地域おこし協力隊として、地域の皆さまと一緒にこのような倶知安町を構成する要素となっている景観を広めてまちの賑わいづくりにつながる活動を行い、ゆくゆくはこれからさらに増えるであろう観光客の方々にもその魅力を伝えることができる活動につなげていきたいと考えています。



まちづくり活動(まち活)の実施

◆育んだ地域への愛着を次の世代につなげる◆

『道ばたに落ちているごみを見つけたら拾うなど、日頃の行動から心に潤いのある美しい景観文化を育みます』

この言葉は倶知安町景観計画の基本方針の1つとして定めており、日頃の当たり前の行動が大事であり、結果美しい景観へと繋がる位置付けております。そこで、町民でもある私たち役場職員から行動することが大事と考え、8月15日から、毎月15日を「まち活の日」と定め、朝の出勤時は出来るだけ歩いて出勤し、「健康増進」「脱炭素」にも繋がる一石三鳥のごみ拾い活動を行っております。



三役にもご協力いただいております



次回をお願いします!



茂みの中までしっかりと!



分別もしっかりと



拾ったごみの成果



若手職員も頑張っています!



そんなものまで!?

一人一人が自立した心を持ち、「迷惑をかけない」「支え合う」という気持ちが育まれると、町からごみが消え、「きれいな」良い景観のマチになると思います。このような活動がなくても、当たり前のようにごみを拾える文化が育まれると素敵だなと思いました。

シーニックバイウェイの活動について

「シーニックバイウェイ北海道」という言葉を知っていますか？

シーニックバイウェイ北海道は、2005年から始まった取り組みで、道路を通じた地域おこしとして「景観の良いところで寄り道して、その地域の魅力に触れてもらおう」という目的のもと、地域の活動団体が主体となり、行政・企業等も連携しながら活動しています。

今回は、シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルートにおける本町の活動を担っている、WAOニセコ羊蹄再発見の会の小野幸子さんにインタビューを行いました。



◆WAOの活動について(きっかけ)

WAOの取り組みは、エキノコックスのベイト撒きが活動の始まりでした。この活動がきっかけで、北海道開発局とのつながりが生まれ、シーニックバイウェイの活動を知ったことが始まりです。2005年に、支笏洞爺ニセコエリアの国道と主要道路が候補ルートとなり、2007年に正式にルートとして認定されました。シーニックバイウェイは「映画のワンシーン」のように、過ぎゆく道の景色に突如訪れる「素敵な場所」の創出を図り、「倶知安っていいな」と感じてもらえればと思い、活動を始めたことがきっかけです。八幡ビューポイントパーキングの景観維持活動のほか、2月の雪トピアフェスティバルに合わせて行うシーニックナイトなど幅広く道路の魅力づくりに取り組んでいます。

◆国道276号八幡ビューポイントパーキングの取り組み

WAOでは、地域のシンボルである羊蹄山が一望できるスポットとして、八幡ビューポイントパーキングにおいて、草刈りや花植えなどの景観づくりを行ってきました。活動を始めた当初から、電線が羊蹄山への眺望を阻害している状況で、「この電線、どうにかならないか」関係各所に10年以上言い続けた結果、2017年に電柱が移設され、メディアに取り上げられました。ですが、八幡ビューポイントパーキングの認知度はまだまだ低い状況です。以前アンケートを実施した際には、約5割程度の認知度だったため、町民の皆さまにも広く知っていただきたいです。

また、パーキングの沿道に植わっているハイマツが十分な管理が出来ておらず、荒れていることが気になっていました。昨年、恵庭市の花フェスタにてコスモスの種をいただいたので、倶知安から恵庭までの国道の要所をコスモスで繋ぎたいという思いで今年植え替えました。

今後は、イタドリが繁茂している箇所を整備し、より羊蹄山への眺望が良くなるように、関係各所と連携したいと考えています。そして、現在も続けている美化活動は継続しながら、「休憩場所」としての価値を高めていきたいと考えています。将来的には“ちょっとずつ”毎年アップデート出来ればと思いますので、皆さまもぜひお立ち寄りください。

電線が景色を阻害

草刈り活動

八幡ビューポイントパーキングと尻別川リバーパーク駐車場にて関係各所皆さんで毎年行っています。

2017年

2023年

シーニックナイト

ニセコ町や京極町など、ルート上の市町村でキャンドルを灯し、冬季の周遊観光の促進を図るものです。倶知安町では峠下(国道5号)、八幡(国道276号)の駐車場を中心に、各所で実施します。

WAOニセコ羊蹄再発見の会の活動

- エキノコックス実態調査業務(通年) •倶知安アンテナショップ運営事業(通年) •花植え会事業(6月~10月)
- ごみ拾い・草刈り等の美化活動(4~10月) •シーニックナイト・エコキャンドル事業(1~2月)

『秀逸な道』景観診断

◆『秀逸な道』とは？

「秀逸な道」とは、シーニックバイウェイ北海道の中でも「特に魅力的な景観等を有する道路」であり、倶知安町八幡ビューポイントパーキングから喜茂別町の相川ビューポイントパーキングまでの区間を「秀逸な道」として認定され、「美しく変化する羊蹄山の稜線に寄り添う道」と位置付けられています。



この区間を、より心地良い道路空間とするための取り組みとして、関係する活動団体の方達と現地に出向いて、「景観診断」を行いました。今回は倶知安町内における実施箇所にフォーカスして紹介します。

1 イタドリ防草シートの施工 (八幡572(八幡羊蹄会館近く))

施工前

イタドリが繁茂

施工後

沿道に防草シートを施工

皆さんで施工状況を確認

★イタドリ撤去後は、「倶知安らしさ」である「農地」や「羊蹄山」などへの眺望が良くなった。

2 国道276号道路補修の実施 (八幡地域)

施工前

施工後

★「秀逸な道」の名にふさわしい、「通りたくなる」ようなストレスのない道路へ。
★今後も秀逸な道の魅力向上に向けて、道路景観の改善に取り組みます。

各関係機関から

(一社)北海道開発技術センター 調査研究部

- 2005年から18年に渡り、ニセコエリアの皆さんと一緒に美しい景観づくりを進めています。「美しい景観をつくらう!」という活動初期の情熱は、衰えるどころか益々パワーアップしており、驚きと感動を覚えます。そのパワーの集大成が八幡ビューポイントパーキングの「電柱・電線の見えない化(2017年)」につながり、のちに「ベストシーニックバイウェイプロジェクト2017(最優秀賞)」に輝きました。
- 2020年度に「秀逸な道」に認定され、美しい景観づくりに対する機運がさらに高まり、仲間もどんどん増え続けています。こうしたことから、美しい景観は、そこに暮らす人々と訪れる人がともに「育み・整える」ものだとし、身にしみて実感しています。

小樽開発建設部 道路計画課

「景観の維持・形成・情報発信を重点的に取り組むシーニックバイウェイ秀逸な道」の推進により、地域との協働を通じて世界水準の観光地づくり、生産空間のコミュニティ維持を進めるため、私たちが地域の皆さまと一緒に汗をかいて活動しています。